

◆ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン第121号をお届けします◇

□◆

ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン

第121号／2019年1月21日

《発行者／福島県生活環境部男女共生課》

◆□◆

「目次」

◆お知らせ

- ・平成30年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

◆◇◆お知らせ◆◇◆

平成30年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

内閣府が実施している、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績又は功労のあった個人・団体を表彰する「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の平成30年度受賞者をご紹介します。

【内閣総理大臣表彰】（1件）

◆有限会社 エクストラ

[主な功績・功労]

- ・自動点訳ソフト「EXTRA」の開発
→これまで精度の高い点訳を自動で行うソフトウェアは無く、日本語の点訳作業は非常に時間と手間がかかる作業だったが、ソフトウェアの開発を行い、日本語を高水準の点字文書に一括して変換することが可能となった。
- ・海外の視覚障がい者向けのソフトウェアや支援機器を日本でも使用できるようにローカライズした

【内閣府特命担当大臣表彰優良賞】（3件）

◆社会福祉法人 愛知たいようの杜

[主な功績・功労]

- ・子どもから高齢者まで多世代が共に生きるコミュニティの実現を目指し、特別養護老人ホームや幼稚園、看護福祉学校等からなる「ゴジカラ村」を創設
- ・特別養護老人ホームでは子連れで出勤ができ、職員にとって働きやすい職場になっている
- ・古民家のひとつ「どんぐりの杜」では、高齢者を中心に学生や子連れの親などが子どもを預かるボランティアを行っており、子育て中の保護者の支援だけではなく、幅広い層の居場所も創設している
- ・多世代共同住宅「ぼちぼち長屋」は、1階に介護が必要な高齢者、2階に独身女性や子育て世代が入居できる

◆明石市

[主な功績・功労]

- ・「障害者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例」を制定
→平成28年に全国で初めて公的助成金事業を創設。
市内の市民センター、観光案内所等にタブレット端末を設置。端末から本庁につなぎ、遠隔で手話通訳者を介して窓口の職員とやりとりを行うことができる。
- ・ユニバーサルモニター制度
→障がい当事者26人がモニターに就任しており、公共施設や宿泊施設、飲食店等のバリアフリー環境や情報アクセスについて、当事者目線で気づいた具体的な提案をすることができる。

◆合同会社 Chupki (チュプキ)

[主な功績・功労]

- ・日本初の常設のユニバーサルシアターを開館
- ・すべての上映作品に、視覚障がい者や聴覚障がい者対応の音声解説と日本語字幕をつけている
- ・館内はバリアフリーへの配慮が行き届いており、入り口からトイレ、客席後方の車椅子スペースまで車椅子に乗ったまま移動が可能
- ・防音ブースの親子観賞室の設置

【内閣府特命担当大臣表彰奨励賞】 (2件)

◆藤巻 進 氏 (個人)

[主な功績・功労]

- ・家庭で使用できる車椅子スポーツ競技者向けのトレーニングマシンの開発に携わり、初めて製品化に成功
- ・使用者のニーズを聞きながら、身体や車椅子に合わせて一台一台全て手作業でオーダーメイドしている
- ・ラグビー用のマシンについては、リオパラリンピック日本代表のトレーニングマシンに正式採用された

◆富士見高原リゾート株式会社

[主な功績・功労]

- ・車椅子利用者が自然環境下で楽しむための機器の導入
→アウトドア用車椅子「HIPPO」、けん引式車椅子補助装置「JINRIKI」など
- ・歩行弱者及びその家族が共に高原環境を楽しめるように整備した、自動で走行する乗用カートの運行
- ・障がい等により学習旅行に参加困難な児童生徒も自然体験を共にできる環境整備として、後方の介助者が操作を行う「デュアルスキー」等を導入し、スキーの体験機会を提供

◇表彰に関する詳しい情報は内閣府ホームページを御覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/h30hyoushou/gaiyou.html>



《担当より》

2019年第1回目のメールマガジンです。今年もよろしくお願いたします。

さて、今回は表彰を受けたUD関係の取組を御紹介しており、様々な分野で多様な取組がされていることを感じていただいたと思いますが、個人的には昨年初めて「UDタクシー」に乗り、UDを実感してきました。

黒色でワゴンタイプのUDタクシーに乗ってみると、手すりが複数付いていたり、座席が広く天井が高かったり、トランクもとても広くなっていたりと、より利用しやすくなったポイントをたくさん見つけることができました。タクシーの運転手さんからも、外国人観光客の大きなスーツケースも楽々入ることや、全体的に高級感がありながらも料金は従来のタクシーと同じであることなど、UDタクシーについての説明があり、印象に残るタクシー利用でした。

=====

★発行

福島県生活環境部男女共生課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話024-521-7188 / FAX024-521-7887

電子メール danjo@pref.fukushima.lg.jp

ウェブサイト <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/>

当メールマガジンでは、固有名詞を除いて、ユニバーサルデザインを「UD」と表記しています。

ご意見やご感想、また、UDに関するイベント情報など、どうぞお気軽にお寄せください。

=====